



## ニュースの芽

□□□  
今年はコメが豊作  
日本酒や食用に

■ ■ ■

10月13日、槇塚台の「ま  
ちかどステーション八百萬  
屋」の利用者やスタッフら  
が、梅の田んぼで山田錦や  
ヒノヒカリの稲刈りを行っ  
た。八百萬屋は、就労移行  
支援や就労継続B型支援の  
事業を行っている。たわわ

に実った稲穂を機械が刈り  
取れない場所は、手作業で  
稲を刈った。利用者やスタ  
ッフの子ども達は、片手で  
握った稲穂を鎌で次々に刈  
り取った。

昨年は、稲の害虫ウンカ  
が多発し、2反分の米が全  
減する被害にあった。「今年  
は昨年の分も取り戻そう」  
と、田植えから意気込んだ。  
黄金色に輝く田んぼを見て

「豊作でホッとしています」  
と利用者。「雑草抜きなどは  
大変でしたが、無事に稲刈  
りができてうれしい」と、  
汗だくの顔が輝いた。  
酒米・山田錦は、3年前  
から始まった酒造りプロジ  
ェクトの日本酒「金の鳩」  
の原料となる。またヒノヒ  
カ리는、八百萬屋で販売し  
たり、ランチとして提供さ  
れたりする。〔富尾〕

## 堺咲花病院内に分教室

羽曳野  
支援学校 入院中の学習をサポート

堺咲花病院(原山台2丁)  
に小さな学校がある。大阪  
府立羽曳野支援学校・堺咲  
花病院分教室。病棟奥にあ  
る別棟は、趣ある木造平屋  
の一軒家の建物だ。分教室  
では、入院中の小中学生が

「登校」。その子に応じた時  
間割に沿って先生が「授業」  
を行っている。時には、ベ

ッドサイドまで教師が出向  
き授業をすることも。コロ  
ナ禍で、保護者たちの面会  
が許されない中でも生徒た  
ちは、明るい笑顔で学校生  
活を楽しんでいる。

羽曳野支援学校は、入院  
自宅療養中の学習を保障す  
る学校として現在、堺咲花  
病院のほか、母子医療セン

ター、近畿大学病院、阪南  
病院など南大阪の病院で6  
つの分教室を展開。訪問教  
育も行っている。分教室で  
は、病院や地域の学校と常  
に連携を取りながらそれぞ

れの病状に応じて学習を進  
める。地域の小中学校と同  
じ教育内容で、健康回復・  
改善を目指している。

堺咲花病院では、地域内  
外から小児患者が外来通院  
必要に応じて入院となる。  
入院は2か月に及ぶことも  
あり、生徒たちは病室から

分教室に通い、学校生活を  
送っている。

支援教室で大切な柱とし  
ているのが、子どもの良い  
ところを伸ばす「自立活動」。  
時間割にも「自立」授業が  
組み込まれ、生徒たちが提  
案したゲームや音楽などコ  
ミュニケーション活動を実  
施。

9月24日、取材時には中  
学生2人と小学生1人が登  
校。理科など各学年の教科  
を受けた後、自立の授業は、  
生徒からのリクエストで教  
師たちも交わりカードゲー  
ムを楽しむことに。犯人の  
カードを持っている人を探  
す心理ゲームに大盛り上が  
り。笑い声があふれていた。

分教室室長の橋本麻帆さ  
んは「コロナ禍で今年は、  
さまざまな行事が通常通り  
には実施できませんでしたが  
、窓の外に自然が広がる  
教室で生徒たちの『心の充  
電』ができることに寄り添  
えたら」と、話している。

〔横山〕

## はるみ小・千葉さん 最優秀賞

### 南消防署が小学生防火絵画展

堺市南消防署主催「第43  
回小学生防火絵画展」に応  
募された505点の作品か  
ら、最優秀賞に選ばれたの  
は、はるみ小学校6年の千  
葉ひなたさん。写真中央。

火の元を一つ一つ点検して  
いる様子を見て、良いこと  
だなと思い、今回の作品の  
テーマとしたそう。  
味のある文字にこだわり、  
工夫を重ね、小筆を使用し  
て仕上げた。「初めて受賞出  
来てうれしい」と笑顔。

絵を描くことが好きな千  
葉さんは、外出時に家族が、  
贈呈された。

「小学生の防災意識の高  
さに感心する」と阪下署長。  
「参加作品に込められてい  
る強い思いを感じる。南区  
から火事は出さない強い思  
いで頑張っていく」と話し  
た。

特別賞7作品と優良賞33  
作品は、11月7日まで、ア  
クロスモールA館(デシリ  
ーカナートイズミヤ)2階  
エスカレーター付近に展示  
中。特別賞7作品は、8日  
、11日、南区役所ロビーで  
展示され、今後ポスターと  
して、南区内で火災予防を  
呼び掛ける。〔松林〕

